

第22号議案

「わが子のためのオンリーワン教育」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

令和元年5月15日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 佐藤 正子

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

2019年4月19日

文京区教育委員会 殿

申請者(申請団体) 東洋大学 白山哲理塾

住所(所在地) 文京区 白山 5-28-20

代表者名 (ふりがな) せしげんじ
関 賢二

代表者連絡先 (事務担当者) 03-3945-8459
木村 宣子 090-2629-0918

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 ~~共催~~・後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	わが子のためのオリーヴ教育		
実施期間	2019年 6月 11日(火) から 2019年 6月 12日(水) まで(2日間)		
実施場所	大原地域活動センター		
事業内容	目的	昨今の夫働き家庭の増加・子育てに対する価値観の多様化により悩んでいる保護者さまに対して問題解決に向けてケア致します	
	内容	①ヒースタディによる全体講演(ゲーム, SNS 学校等) ②個別相談の開催(オリーヴのケア)	
	対象者	文京区内の小中学生の子をもち保護者(参加予定人員 100人)	
	参加費	1000円(実費)	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)			
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する ・ 同意しない			

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

わが子のためのオンリーワン教育



開催日時 ① 6月11日(火) ② 6月12日(水) 10:00開場 講演10:30~12:30 ※その後個別質問を受け付けます。

開催場所 大原地域活動センター多目的室A

定員 各40名 ※会場の都合上お子さま同伴での参加はできません。 **参加費用** 各1,000円(実費)

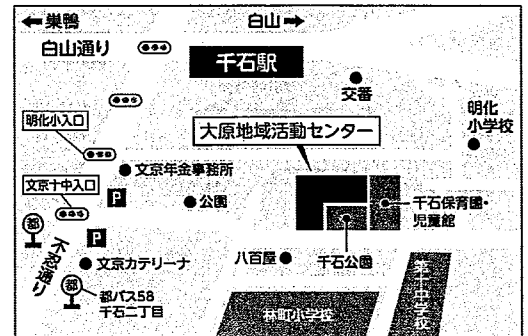
講座内容 昨今の共働き家庭の増加により、子どもと向き合う時間が減少しています。それに加え、ゲームの浸透や進学において子育てが以前に比べ多様化し、難しくなっております。わが子に合った導き方について迷われたり、苦勞をなさったりしていらっしゃる保護者さまに対し、「子ども個性に合った教育」として、ご家庭内での躰から習い事や進学の観点まで悔いのない子育てに役立つご提案を申し上げます。

お申し込み方法 下記、必要事項を記載の上、メールにてお申込みください。(press.71abeken@docomo.ne.jp)

- 参加者のお名前 ●ご希望日時(①6月11日(火)②6月12日(水)) ●お子さまのお名前・学校・学年 ●連絡先(自宅・携帯)
- これまでの参加回数 ●お子さまの状況(中学受験をする しない 検討中)とその理由(差支えない範囲でお願いします)
- お子さまのことで困っていることなど(あれば) ※ご不明点等連絡先:090-2629-0913(担当吉田)

講師紹介 阿部 順子 母と子の幸せ教育の会・阿部教育研究所代表
東洋大学(白山哲理塾)講師 心理カウンセラー

大学時代から20年以上にわたり中学受験(主に算数)を指導。志望校合格に向けたカリキュラムや学習面・精神面(子ども・親)を支え成果を上げる。旧住友銀行に勤務後、家庭教師をしながら大手中学受験指導塾の教材や指導者用手引きの作成に携わる。自らの中学受験経験、大学時代からの指導経験と教材製作による指導のノウハウを基に幼児から高校生までの受験・補習を行うジュニアメイト学習教室を開塾し2016年までの18年間塾経営を行う。また、2008年日本臨床心理カウンセリング協会においてカウンセラーとして認定を受け、小学生から社会人まで幅広い年代の心のケアにあたり発達障がい児の指導、不登校・引きこもりの児童のケア、親子関係改善など成果をあげている。2011年11月より、日本経済新聞(土曜日刊)にて教育に関するコラム「親和力」を連載(全43回)。2014年より東洋大学「白山哲理塾」の講師として子どもと勉強に関する講演会を毎年開催。学習塾経営、指導の現場を通して、長い目で伸ばす。学習の仕方、親子関係に関する研究を行っている。2016年4月に阿部教育研究所をオープン。2018年11月に母と子の幸せ教育の会をオープンし親子関係と教育に関する研究を行っております。



東洋大学・白山哲理塾とは

東洋大学が白山地域における知の拠点として、大学と地域社会との連携及び地域社会への貢献の一環として、白山地域振興談話会と協働し社会人、経営者、商店主、学生、児童等が自己啓発の場として気軽に学び学習し相互の知徳を高めると共に、地域の振興とコミュニケーションの輪を広げていくことを目的として開設された。

事業予算書

事業名 女子のためのオリーブ教育

団体名 東洋大学白山哲理塾

収 入 単位：円		支 出 単位：円	
会費収入	100,000	受付事務	
① 1,000 × 100人		① 3000 × 2名 × 2日間	12,000
		会場費 (2日間)	10,200
		資料お茶代	40,000
		(① 400円 × 100人)	
		広告印刷代	37,800
計	100,000	計	100,000

2019年 4月 19日

(備 考)

白山地域振興懇話会「白山哲理塾」運営規程

(目的)

第1条 この規程は、東洋大学が白山地域における知の拠点として、東洋大学と地域社会との連携及び貢献の一環として、白山地域振興懇話会（以下「懇話会」という。）と協働し社会人、経営者、商店主、学生、児童等が自己啓発の場として気軽に学び学習し相互の知徳を高めると共に、地域の振興とコミュニケーションの輪を広げていくことを目的として設置した白山哲理塾（以下「本塾」という。）の運営に関して必要な事項を定める。

(運営)

第2条 本塾は東洋大学と懇話会が協働し、運営するものとする。
2 本塾の開講講座は、懇話会の会議において協議し、決定する。
3 本塾の開講講座は、非営利であることを原則とする。

(塾長)

第3条 本塾に塾長を置くことができる。この場合、塾長は懇話会が指名する。
2 塾長は講座の開講について調整し、本塾の円滑な運営について必要な事項を助言する。

(事務)

第4条 本塾の事務（庶務及び会計処理を含む。）は、東洋大学総務部総務課（以下「総務課」という。）が行う。

(講座内容)

第5条 本塾が開講する講座の内容は、児童から高齢者まで学習できる多様な内容とする。
2 講座を実施しようとする場合は、講座企画書を総務課に提出する。

(講座講師及び責任者)

第6条 各講座の責任者は当該講座の講師と連携し、講座の開始から終了まで責任を持って運営を行う。
2 講師としての報酬は、原則として無償とする。ただし、懇話会が認める場合は、懇話会が謝礼を支払うことができる。
3 講師は、講座の実施内容等を所定の用紙で総務課に報告するものとする。

(経費負担)

第7条 講座に必要な材料、教材等の実費は、受講者が負担するものとする。
2 講座に実費を要する場合は、講師は事前に実費額とその内訳を定め受講者及び総務課に周知するものとし、受講者から徴収する実費は、原則として1回の講座につき1,000円を上限とする。

(事業報告)

第8条 総務課は、年間の講座実施状況、会計等について懇話会に報告するものとする。

(その他)

第9条 その他必要な事項は、懇話会の会議において定める。

(改正)

第10条 この規程の改正は、懇話会の会議を経て行う。

附 則

- 1 この規程は、平成29年12月13日から施行する。
- 2 この規程の施行に伴い、東洋大学地域連携「白山哲理塾」要綱及び東洋大学地域連携「白山哲理塾」規定は廃止する。

平成30年度白山地域振興懇話会 役員等名簿

1	会長	奥村 弘志	白山上向丘商店街振興組合	
2	副会長	上本 邦雄	文京区商店街連合会会長	
3		野上 信吉	(前) 白山下商店会会長	
4		大熊 廣一	学校法人東洋大学常務理事	※1
5	委員	赤池 福夫	文京区商店街連合会監事	
6		横山 勝彦	原町町会会長	
7		西澤 正二	曙町会会長	
8		川村 誠治	京華通り自治会長	
9		古澤 一男	白山前町会会長	
10		佐藤 善通	白山町会会長	
11		寺澤 弘一郎	白山上自治会長	
12		平林 武文	白山指ヶ谷町会会長	
13		鳥居本 萬喜智	東洋大学前商店街店主	
14		山本 富司安	白山下商店会会長	
15		矢代 勉	京華通り商店会長	
16		金原 健彦	東洋大学事務局長 兼 総務部長	※2
17	事務局長	正木 透	東洋大学総務次長	
18	顧問(哲理塾塾長)	関 賢二	(前) 東洋大学参与	
19	専門委員	東海林 克彦	東洋大学国際観光学部教授	

※1 平成30年12月7日、学校法人東洋大学の役員が交代。
松尾友矩 常務理事の後任として、大熊廣一 常務理事が就任。
常任理事制度が廃止され、神林新 常任理事が退任。

※2 平成31年1月21日、学校法人東洋大学で事務局長を設置。
金原健彦が事務局長に就任し、総務部長を兼務。

以上

